

ゲームレポート

第2試合 Aコート

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第42回東京都ミニバスケットボール優勝大会	開催日 令和1年9月23日(月)	会場：有明スポーツセンター
男子・女子	対戦名 マジックジュニアバスケットボールクラブ VS	リトルマーベリックス

両チームともマンツーマンディフェンスで試合を開始。

第1Q マジック④を中心に速い展開で得点を徐々に重ねていく。リトルマーベリックスも激しいディフェンスから速攻やドライブで反撃し、得点を重ね17-13マジックリードで第1Q終了。

第2Qマジック⑩とリトルマーベリックス⑤の激しい攻防。リトルマーベリックス⑤がアウトサイドからドライブでインサイドを攻めて得点を重ねる中、マジックが積極的なディフェンスを行い速攻から得点を積み重ね38-20 マジックリードで前半を終える。

第3Q マジックの終始積極的なディフェンスに、リトルマーベリックスは攻め手を欠く。その間マジックが速い展開で得点を重ね54-30 マジックリードで第3Qを終える。

第4Q リトルマーベリックスが激しいディフェンスで果敢に挑むも序盤から積極的なディフェンスでチーム一丸となって果敢に攻め続けたマジックが69-40で勝利した。

チーム名 得点

得点 チーム名

マジックジュニアバスケットボールクラブ

69

17	—	13
21	—	7
16	—	10
15	—	10
	—	<u>延長</u>

40

リトルマーベリックス

記入者名

川畑 睦

所属

東京ミニ連広報委員会

ゲームレポート

第2試合 Bコート

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第42回東京都ミニバスケットボール優勝大会	開催日 令和1年9月23日	会場 有明スポーツセンター
男子・女子	対戦名 木場レッドシャークス VS	バディバスケットボールクラブ

1Qは木場レッドシャークス⑬が中心に得点を取り、バディはパス回しから外のシュートで得点を取るスタイルで試合を進め同点で終わった。
 2Q木場レッドシャークスのスピードあるドリブルからのドライブで得点を重ねる。バディものポストプレイやドライブからのペイントアタックで得点を取りに行くが、木場シャークスの厳しいディフェンスに阻まれ得点を伸ばすことができなかった。
 3Qは両チームが点を取り合うも木場レッドシャーク⑬の高さあるオフェンスで得点を伸ばし、バディは追い上げることができなかった。
 4Qはバディの気迫溢れるディフェンスが功を奏し得点を重ねる。木場レッドシャークスはバディのディフェンスにミスが重なり残り42秒で1点差まで追い上げられた。しかし、木場レッドシャークの踏ん張りで勝ち超すことができた。

チーム名	得点		得点	チーム名	
木場レッドシャークス	38	(10	——	10
			11	——	5
			11	——	8
			6	——	14
)	37	バディバスケットボールクラブ	
					記入者名
					松崎忠弘
					所属
					東京都ミニ連広報委員会

ゲームレポート

第4試合 Aコート

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第42回東京都ミニバスケットボール優勝大会	開催日 令和1年9月23日	会場 有明スポーツセンター
男子・女子	対戦名 バディバスケットボールクラブ VS マジックジュニアバスケットボールクラブ	

1Qバディは外からのシュートを積極的に試みるが決めきれない。マジックは⑱の速いドリブルからのドライブを着実に決め、マジックが4点勝ち越しこのクォーターを終えた。
 2Qはお互いに得点を取り合い、バディは1Qの得点差を詰めることが出来ず終わった。
 3Qはバディ⑦のポストプレイから得点を取るが、クォーター後半オフェンスが単調になり得点をなかなか追加できない。マジックは速いドリブルからのドライブで着実に得点を重ねる。一進一退の攻防が続いた。
 4Qバディはマジックのディフェンスを崩すことが出来ない。マジックはバディに厳しいディフェンスを仕掛けバディが決めきれないボールを確実にシュートにつなげ得点を重ね、勝利を勝ち取った。

チーム名	得点		得点	チーム名		
		(
	10		—	14		
	10		—	10		
	11		—	15		
バディバスケットボールクラブ	39		52	マジックジュニアバスケットボールクラブ		
					記入者名	
					松崎忠弘	
					所属	
					東京都ミニ連広報委員会	

ゲームレポート

第 4 試合 Bコート

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第42回東京都ミニバスケットボール優勝大会	開催日 令和1年9月23日 (月)	会場：有明スポーツセンター
男子・女子	対戦名 リトルマーベリックス VS	木場レッドシャークス

1Q、長身の木場⑬がゴール下シュートを放ち、ファールを誘いカウント1スローも決めてスタートした。リトルマーベリックスは⑦のジャンプシュート、⑩の速攻で得点しお互いに速い展開で進んだ。リバウンド争いは長身の⑬がいる木場がやや有利だったが、リトルマーベリックスもしっかりとポジションを作り十分に絡めていた。残り3：19リトルマーベリックスがタイムアウト。お互いに4ファールとなるが、11-15と4点木場リードで終了。

2Q、開始からリトルマーベリックスはなかなかオフェンスリズムが作れず、開始1：20でタイムアウト。タイムアウト後も木場のペースは変わらず、リトルマーベリックスのミスを誘い、いいディフェンスを展開し のびのびと攻め上がり得点を重ね、21-32で前半終了。

3Q、木場⑬が連続して得点していく。リトルマーベリックスも⑦がドライブインを決めていくが、木場⑥が速い展開から得点し、流れは変わらず木場だった。残り3：04でリトルマーベリックスがタイムアウト。なんとか流れを変えようとしていたが、このQ、6-20と木場が大量にリードした。

4Q、リトルマーベリックスはやっと自分たちのオフェンスリズムをつかめたかのように、⑦がドライブインを連続して決めいき、開始2分間木場に得点させない積極的なディフェンスを展開した。残り2：56で、リトルマーベリックスはタイムアウト。

各Qでタイムアウトを取り、選手たちに細かく指導したように感じられたリトルマーベリックスだったが、木場の⑬の高さ、全員の粘り強い守り・より速いオフェンスリズムに苦戦し39-62で木場が勝利した。

チーム名	得点	<table style="margin: auto; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 5px 10px;">11</td><td style="padding: 5px 10px;">—</td><td style="padding: 5px 10px;">15</td></tr> <tr><td style="padding: 5px 10px;">10</td><td style="padding: 5px 10px;">—</td><td style="padding: 5px 10px;">17</td></tr> <tr><td style="padding: 5px 10px;">6</td><td style="padding: 5px 10px;">—</td><td style="padding: 5px 10px;">20</td></tr> <tr><td style="padding: 5px 10px;">12</td><td style="padding: 5px 10px;">—</td><td style="padding: 5px 10px;">10</td></tr> <tr><td colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px 10px;"><u>延長</u></td></tr> </table>	11	—	15	10	—	17	6	—	20	12	—	10	<u>延長</u>			得点	チーム名	
11	—	15																		
10	—	17																		
6	—	20																		
12	—	10																		
<u>延長</u>																				
リトルマーベリックス	39		62	木場レッドシャークス	記入者名 <u>戸田 重孝</u>															
					所属 <u>東京ミニ連広報委員会</u>															